

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校	平成6年3月30日	藤井 達也	〒123-1234 静岡県浜松市中区板屋町101-8 (電話) 053-455-4554				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人名古屋大原学園	昭和57年9月28日	村松 紳年	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目20番8号 (電話) 052-582-7733				
目的	ホテル・ブライダル業界等への就職を目標に、実務上必要とされるレストランサービス技能やブライダル業界に必要な技能を身に付け、HRS技能検定・ホテル実務技能試験・ABC検定等の資格を取得し、併せてホテル・ブライダル業務全般の知識を身に付けることを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科(ホテルコース)	平成25年1月29日 文部科学省告示	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2192	1136	0	784	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
70人	22人	4人	0人	4人			
学期制度	■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席状況・授業態度・期末試験・検定試験等の結果により、優・良・可・不可の成績評価を行う。			
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:7月16日～8月24日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月11日～3月31日		卒業・進級条件	卒業(進級)審査会において出席状況・履修科目評価・資格取得状況・学納金納付状況等を総合的に勘案して決定する。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席日数に応じ面接実施および保護者と綿密連携		課外活動	■課外活動の種類 浜松市主催の国際行事ボランティアに積極的参加 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ホテル・ブライダル業界、接客サービス業 ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 63% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定/アシスタント・ウェディング・プランナー検定/レストランサービス技能検定/ホテル実務技能検定/フォーマルウェア検定/色彩検定/サービス接客検定/サービス介助士			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 ■中退率 3.3% 平成28年4月1日 在学者 59名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 57名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更(進学)のため。 ■中退防止のための取組 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長(または校長)を交えて面談を行い、本人の進路希望を聞き取り、保護者の方針や本人の適正等について話し合う場を設けている。また経済的理由による退学希望者には学生支援機構や提携ローンを紹介するなど学生支援を行っている。						
ホームページ	URL://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

グローバル化の進展や各国の経済成長に伴い、今後、外国人旅行者の増加がみこまれるため、ホテル業界はホスピタリティを発揮できるホテル業界全般に精通した有用な人材を求めている。業務に従事する上で必須とされるホテル関連分野の専門技術とそれを裏付ける専門的な知識を習得させると共に、企業等との連携を図り、インターンシップを通してホテル実務を身に付けた有用な人材を育成していきたい。教育課程の編成にあたっては、企業等との連携が欠かせない。業界の動向を踏まえた、企業等からの要望・意見を取り入れながら、なお一層充実したものとし、教育の質の向上・維持に努めていきたい。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年6月1日現在

名前	所属
府川 博明	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 専務理事 兼 事務局長
澤田 英久	株式会社ホテルコンコルド浜松 営業部 ブライダル課 課長
水口 智章	株式会社ラビアンローゼ ミュゼ四つ池 マネージャー
吉田 孝行	フラワーコンシェルジュそれいゆ 店長
松井 恵理	ネイルサロン&クラフトスクール Eric
藤井 達也	学校法人名古屋大原学園 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校 校長
山本 薫	学校法人名古屋大原学園 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校 科長

(開催日時)

第1回 平成29年7月14日 予定 16:00～17:00

第2回 平成30年1月 予定

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

入学後、約3ヶ月でレストランサービスの基本を身に付けさせ、その後一ヶ月間、リゾートホテルでの実習をホテル・ブライダル科の全学生に義務付けている。ホテルの寮に宿泊して、レストランサービスを主とした接客サービスを行うものである。ホテル管理部門における導入教育終了後、各部署に配属され、実際にお客様に対して、おもてなしサービスを体験することにより、インターンシップ終了後は学生の仕事に向き合う意識が大きく変わり、その成長ぶりが目立つようになる。その後の学生生活の充実度合、学生の職業観の変化等、学生が大きく成長していく様子がうかがえる。受け身の姿勢から主体的行動へ、学生の意識改革と職場理解を深めるうえでこのインターンシップ研修は有意義であり、学園としてもホテル側と綿密な打ち合わせの下、引き続き、積極的に取り組んでいく方針である。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ実習	机上での学習後の実践力を養うため実際の社会現場にて通用する力を身に付ける	リゾートトラスト株式会社、株式会社オークラクトシティホテル浜松等
ブライダルアートⅠ	現場で働く最前線の方からの講習により、業界内の更なる知識を身に付ける	フラワーコンシェルジュそれいゆネイルサロン&クラフトスクールEric
料飲部門実習	現場で働く最前線の方からの講習により、業界内の更なる知識を身に付ける	バー ソワール
ブライダル実習Ⅰ・Ⅱ	挙式から披露宴までのトータル実践学習によりレベルの高い接客対応能力の習得のため	株式会社出雲殿

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園の『教育研修支援規程』第2条(教職員の義務等)に、「学園の教職員は、所属部署に関わらず、就業規則第39条(教育)の規程により、学園が必要と認める教育又は研修を受けなければならない。」(抜粋)と規定されており、この規程に基づき、教員が担当する分野の実務研修や学生への指導力向上のための研修を毎年継続的に受講させる方針である。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年6月1日現在

名 前	所 属
牛田 策啓	牛田策啓税理士事務所 所長
杵屋 英夫	浜松商工会議所 産業振興部 部長
鈴木 基生	田町パークビル株式会社 代表取締役
中島 俊岳	社会福祉法人聖隷福祉事業団 法人本部 人事企画課 次長
高塚 陽介	国際観光株式会社 西部営業所 次長
堀内 章伸	社会福祉法人磐田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/](http://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/)

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/index.html](http://www.ohara.ac.jp/hamamatsu/index.html)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程国際ホテル・ブライダル科(ホテルコース))平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ホテル理論Ⅰ	ホテルの宿泊部門・料飲部門についての基礎学習	1 ①	64		○			○		○		
○			ホテル理論Ⅱ	ホテルの宿泊部門・料飲部門についての発展学習	1 ③	64		○			○		○		
○			サービス接遇Ⅰ	サービス接遇検定3級を目標としたサービス接遇の際の言葉遣いや適切な対応の仕方などを学習	1 ①	32		○			○		○		
○			ブライダル概論	ブライダルの全般的な知識の学習	1 ①	32		○			○		○		
○			ブライダルプロデュースⅠ	ブライダルプランニングを中心とした基礎学習	1 ③	32		○			○		○		
○			ブライダルプロデュースⅡ	ブライダルプランニングを中心とした発展学習	2 ②	32		○			○		○		
○			ブライダル実習Ⅰ	ブライダル挙式・披露宴までの基礎実習	2 ①	32				○	○		○		○
○			ブライダル実習Ⅱ	ブライダル挙式・披露宴までの発展学習	2 ②	32				○	○		○		○
○			ホスピタリティ	心からのおもてなしを実践するための学習	1 ①	32		○			○		○		
○			ブライダルアートⅠ	ブライダルネイルや装花などの基礎学習	1 ①	32				○	○				○
○			宴会実務	ホテル・ブライダルでの宴会サービスを中心とした基礎学習	1 ①	32				○	○		○		

○		レストランサービス士Ⅰ	レストランサービス技能検定筆記対策学習	1 ② 2 ①	128	○			○		○							
○		レストランサービス士Ⅱ	レストランサービス技能検定実技対策学習	1 ③ 2 ②	128				○	○		○						
○		サービス・トレーニング	ホテル・ブライダルにおけるサービス実習	1 ③	32				○	○		○						
○		インターンシップ研修	リゾートホテル・シティホテル・ブライダル企業にて実践学習	1 ① 1 ②	320				○			○						○
○		テーブルサービス実習Ⅰ	テーブルサービスを行うための基礎実習	1 ①	32				○	○		○						
○		テーブルサービス実習Ⅱ	テーブルサービスを行うための発展実習	2 ①	32				○	○		○						
○		料飲部門実務	料飲部門の基礎及び発展学習	2 ① 2 ②	112				○	○								○
○		カラーコーディネート	色彩検定の知識を中心とした学習	2 ①	32	○						○						○
○		フォーマルウェア	ドレスコードなどを中心としたフォーマルウェアの基礎学習	2 ①	16	○						○						○
○		アシスタント・ブライダル・コーディネーター	A B C 検定の知識を中心とした学習	2 ③	32	○						○						○
○		ホテル英会話	ホテル業務の基本英語	2 ②	32	○						○						○
○		ビジネス実習	社会人としての基礎知識学習	2 ② 2 ③	384	○						○						○
○		コンピューター技能Ⅰ	Word検定を中心としたP C学習	1 ①	32	○						○						○
○		コンピューター技能Ⅱ	Excel検定を中心としたP C学習	2 ①	32	○						○						○

○		英会話 I	英語演習による英会話基礎学習	1 ①	32	○		○	○				
○		就職 I	就職活動の基礎学習	1 ② 1 ③	64	○		○	○				
○		就職 II	就職活動の発展学習	2 ① 2 ②	64	○		○	○				
	○	ホテル・デュアル研修	専門教科の授業と並行して学校が選定したホテルで任意で研修（アルバイト勤務）	1 通 2 通	272			○	○				
合計					29科目	2192単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業(進級)審査会において出席状況・履修科目評価・資格取得状況・学納金納付状況等を総合的に勘案して決定する。		1学年の学期区分	3期
		1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。